

平作命第九號(宇作命茅古號)

平山隊命令

一月三日一八〇〇
船 蓬 台

一敵ハ引續キ本島空襲ノ算アリ

國頭支隊ハ夜間ヲ利用シ昨夜卸下セル糧秣ノ分散遮敵ヲ

急速ニ實施スルノ企圖ヲ有ス

二隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ協力セントス

三指揮小隊及中隊隊列ヨリ各々兵五名ヲ差出シ中澤兵長ノ指揮

ヲ以テ本日一八〇〇迄濱崎海岸ニ至リ森山少尉ノ指揮ヲ受ケシムベシ

四余ハ船蓬台ニ在リ

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告先 此

平作命第一。號

平山隊命令

一月二十三日。台

- 一 近日來、情勢ニ就テハ、諸子ノ熟知セル如ク、著シク不安定ナリ
- 二 中隊ハ、試験射撃ヲ延期シ、重輕枝料ヲ船空台ニ集結セントス
- 三 吉賀中尉ハ、指揮小隊及中隊隊列ヲ併セ、指揮シ、道路竝ニ進入路ノ補修ヲ續行スベシ
- 四 河村中尉ハ、邊名地ヲ撤シ、重枝料ヲ船空台ニ運搬スベシ
- 五 中隊隊列ハ、彈藥ヲ船空台ニ運搬スベシ
- 六 新行橋衛兵ハ、枝料運搬完了後之ヲ撤收ス
- 仍テ爾後編成ヲ解キ、原所屬ニ復歸スベシ
- 七 余ハ船空台ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 戰砲隊ニハ電話、其ノ他ハ口達

報告通報先

20 I/20 II/20

9/A

平作命第廿號(字作命第十六號)

平山隊命令

一月二十四日

一國頭支隊ハ八重岳複前陣地ノ照明施設ヲ強
化シ併セテ電探ノ電源ヲ確保スルノ企圖ヲ有ス

二隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ協カセム

三段列長ハ二十五、六兩日自働貨車一輛(機銃手共)ヲ

歩兵隊高級主計ノ指示ヲ受ケシムベシ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告先 此

平作命第十二號

平山隊命令

一月二十四日一八〇〇

一 大砲砲兵工廠現地修理班ハ四泊五日ノ豫定ヲ以テ火砲修理ノ爲メ本
來隊セリ

二 中隊ハ一部ヲ以テ該修理班ノ作業ニ連繫シ現態勢ノ儘火砲ノ整備
ヲ實施セントス

三 戰砲隊ハ火砲ノ船倉台ヘノ運行ヲ中止シ現態勢ノ儘現地修理班ノ作業
ニ連繫シ主カヲ以テ火砲ノ整備ニ一部ヲ以テ陣地構築ニ任ズベシ

修理完了セバ右分隊砲架車ヲ船倉台ニ運搬スベシ
左分隊火砲ノ船倉台ヘノ運搬ニ関シテハ別命ス

四 現地修理班ノ宿營給養ハ當隊ニ於テ之ヲ担任ス
隊列長ハ之ガ該營ニ任ズベシ

五 其ノ他ハ前任務ヲ續行スベシ

下達法 口達

隊長 平山 大尉

平作命第十三號

平山隊命令

二月三日 〇七三〇

一 中隊八明四日朝に左分隊、試験射撃ヲ實施セントス
二 戦後隊八明四日三〇〇迄ニ邊名地西側台地ニ於テ左分隊、發射準備ヲ完了スベシ

三 中隊段列長ハ明四日二〇〇迄ニ大銃彈四發ヲ夜側ニ整備スル外
平作命第七号第五項ノ任務ニ服スベシ

四 射撃當日人員部署平作命第七号別紙ニ準テズ

五 戦後隊長ハ試験射撃終了セバ逐次火夜ヲ船倉台桌歸スベシ

六 本期間特ニ對空警戒、遮蔽、偽裝ヲ強化スベシ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告(通報)先

2i
I/2i
II/2i

26Sep
2NA
50ab

一平作命第十四號

平山 隊 命令

二月四日〇七三〇
給 空 台

一中隊ハ都合ニ依リ再度試験射撃ヲ延期シ陣地構築ヲ再興セントス

二戰砲隊ハ火砲ヲ現態勢ノ儘新行橋ニ分散偽装シタル後船産台ニ於ケル陣地構築ヲ再興シ特ニ左分隊陣地ノ作業進捗ヲ圖ルベシ

三氣蓄罐氣圧ノ補充ヲ行ツテ試験射撃ヲ實施スベキモ其ノ時機ハ別命ス

四土山曹長ハ氣蓄罐氣圧補充作業ヲ促進スル如ク大隊隊列長ニ連絡スベシ

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告(通報)先

2i

I/2i

II/2i

9NA

26Sep

50ab

100Feds

平作命第十五號

平山隊命令

二月五日一〇三〇
船 燈 台

一中隊ハ陸地測量部三角点成果ニ連繋シ前地及陣地ノ測地ヲ實施セントス

二指揮小隊長ハ觀測掛下士官及觀測手ノ主カヲ指揮シ

明二月六日ヨリ測地準備ニ着手シ八日ヨリ主カヲ以テ伊江島ニ到リ一部ヲ以テ本部半島ニ於テ前地及陣地ノ測地ニ任ジ二月十五日迄ニ之ヲ完了スベシ

三飛行場ノ測地ニ方リテハ第五〇飛行場大隊ニ連絡スベシ

四座標換算ノ範圍ハ仲宗根一吳我山一安和以西ノ地區(伊江島)含ムトシ座標ニ加ッベキ數値ハXY共ニ〇〇〇〇トス

五設定スベキ基準点左ノ如シ

前地一伊江島城山、東飛行場、西飛行場、燈台

陣地 屋比久 237 高地 黒嶽 船臺台

六余ハ觀測手一ヲ伴ヒ本五日先行シテ伊江島ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 指揮小隊長ニ口達

報告ノ通報先

2. I/24 II/24 50al.

平作命第十六號 (宇作命第三三號)

平山隊命令

十月十日一六〇〇

一 國頭支隊ハ管内主要道路補修ノ促進ヲ圖ルト共ニ之ヲ維持ヲ強化スルノ企圖ヲ有ス

二 中隊ハ渡久地―伊豆味道ニ對スル縣委託作業ノ監督指導ニ任ゼントス

三 軍ヨリ縣ニ委託セル道路工事要員拔萃左ノ如シ

1. 期間 自昭和二十年一月 但 前半 補修完了 至昭和二十年六月 後半 維持トス
2. 補修要求度

自動車交通ニ支障ナカラシムルヲ目途トス

イ 路面地均修繕及砂利敷

ロ 橋梁ノ補強及修繕

ハ 待避所ノ設置、敷砂利ノ補填

四 古賀中尉ハ右作業實施ノ細部ニ關シ名護國頭

平山

土木工區事務所長ト協定、上成果ヲ二月十七日迄ニ
筆記報告スベシ
五余ハ船臺台ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 將校ヲ集ク口達

報告(通報)先

2i

II/2i

平作命第十七号

平山隊命令

二月十日 四〇〇

一中隊ハ當分、間満名ニ連絡所ヲ設置シ集積糧秣、兵器、築城資材
等、監視及對外連絡、適確円滑ヲ期セントス

二指揮隊ハ主力ヲ以テ連絡所、設備ニ任ジ明十一日中ニ之ヲ完成スベシ
連絡所ハ中隊事務所、連絡ハ中隊事務所——沖繩第九夜台向
ヨリ引込ミ三所(系トナスベシ)

三、連絡所勤務員、編成ハ兵長(二卒兵)以下四名(増減アリ)トシ(二月十日
一〇〇〇以降服務スベシ)

四、細部ニ関シテハ右賀中尉ヨリ指示セシム

五、新行橋衛兵二月十日ハ〇〇以降其ノ編成ヲ解キ余所屬ニ復歸スベシ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告(通報)先

2i

II/2i

II/2i

9NA

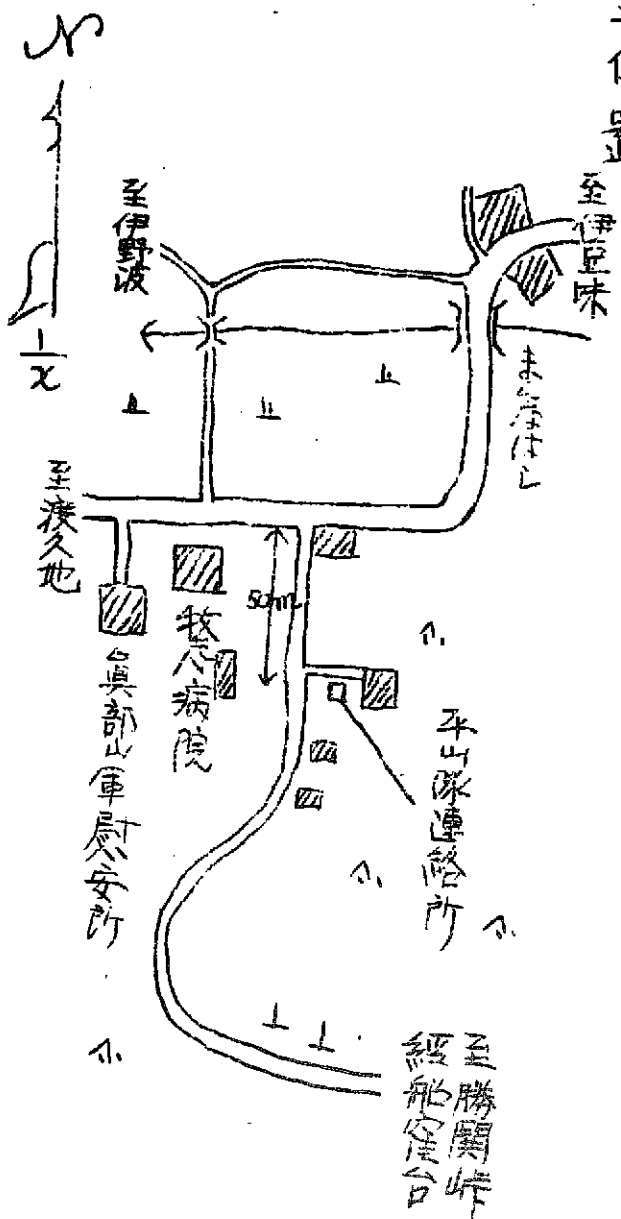
26 Sep

50ab

平作命第十七号別紙

一名稱 平山隊連絡所

二位置



平作命第十八号(平作命第三号)

平山隊命令

二月十一日。六三〇。陸軍

(一)敵戦路態勢より觀察シ敵ハ強力且新ナル作戦企圖ト実力ト有リ
二月下旬以降來攻ニ算ス

國頭支隊ハ緊迫情勢ニ鑑ミ速カニ作戦準備ヲ完成スルノ企圖ヲ有ス

二、中隊ハ明日ヨリ現作業部署ヲ変更シテ晝夜兼行二月下旬中ニ完成
ヲ完成シ之ヲ基礎トスル戦斗特ニ射撃射撃車肉攻挺身奇襲新隊
ノ組織及訓練ニ徹セントス

三、各小隊ハ別紙人員部署ニ基キ全精魂ヲ傾注シ萬難ヲ排シテ二月末日
迄ニ之ヲ完成セムベシ

四、金井軍營ハ此ニ連繫シ三月末日迄ニ此ノ多クノ急造準備ヲ製作スベシ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告(通報)先

2i. I/i. 2/A

平作命第十八號別紙

新作業部署迄二人員表

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------|--------|--------------|----------------|------------|------------|-------------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|--------|
| 備考 其他 前任務 續行トス | 杵木代探 | 億 裝 | 木 抗 道部 | 自動 車降 道体 | 左分隊 掩砲所 | 右分隊 掩砲所 | 作業 迄二任務 區分 | 自 0700 | 至 1700 | 自 1700 | 至 0000 | 自 0000 | 至 0700 | 摘 要 |
| | | | | | | | 角田軍曹以下 第一分隊十三名 | 吉嶺候前軍曹以下 第二分隊十四名 | 落合伍長以下 隊列六名 | 土山曹長以下 隊列一名 | 金山軍曹以下 附屬一名 | 新井軍曹以下 指小九名 | 佐藤軍曹以下 隊列十三名 | |

平作命第十九號（宇作命第三五號）

平山隊命令

二月十一日一七〇〇
陸軍

一國頭支隊ハ渡久地増頭ニ於テ糧秣ノ揚陸ヲ實施セラル

二中隊ハ一部ヲ以テ本作業ニ協力セントス

三指揮小隊ヨリ兵六戰砲隊及銃列ヨリ各々兵七名ヲ差

出シ田中兵長ノ指揮ヲ受ケシムベシ

四田中兵長ハ前項人員ヲ併セ指揮シ本十一日一八〇〇迄ニ渡

久地増頭ニ到リ第二歩兵隊三津家中尉ノ指揮ヲ受

クベシ

五余ハ船倉台ニ在リ

隊長 平山大尉

下達法 口達

報告（通報）先

26

平作命第二十號（宇作命第三六號）

平山隊命令

二月十三日 一九〇〇
船産台

一 情報ニ依レバ敵機動部隊ハ十一日午後「ケルシー」ヲ發シ南西諸島方面ニ迂廻シツツアルモノノ如ク南西諸島方面ニ對スル新作戰ノ前提タル算アリ

二 中隊ハ速カニ戰備ノ完了ヲ圖ルト共ニ砲爆撃ニ對シ一兵一物ト雖モ損耗セザル如ク掩蔽分散偽裝措置ノ徹底ヲ期セントス

三 各小隊ハ作業場ニ於ケル偽裝措置ヲ徹底スルト共ニ兵器糧秣資材ノ掩蔽ノ方全ヲ期スベシ

四 新行橋監視兵ハ坑道入口ノ偽裝ニ方全ヲ期スベシ
五 連絡所勤務員ハ重枚料ノ遮蔽偽裝ヲ補備スベシ

隊長 平山大尉

下達法
報告先
口達
26

平作命第二十一號

平山隊命令

三月六日一八〇〇

陸軍

一近々在郷軍人防衛召集員若干名當隊ニ配属セララル予定ナリ

二中隊ハ古兵力ヲ以テ警備小隊(假稱)ヲ編成シ戦力ヲ増強セントス

三土山曹長ハ警備小隊長(假稱)トナリ其ノ監督教育指導ニ任ズベシ

四各小隊ヨリ警備小隊ノ編成並教育基幹人員トシテ兵長又ハ上等兵各一名ヲ差出スベシ

五石原伍長ハ警備小隊一級庶務ニ任ズベシ

隊長 平山大尉

下達法 下士官以上ヲ集メ口達

報告先 支隊本部

平作命第二十二號（宇作命第五〇號）

平山隊命令

三月七日一七三〇

一 今敏在郷軍人防衛召集員平安名伍長以下五〇名ヲ
中隊ニ配屬セラレ

二 中隊ハ右兵カヲ以テ警備小隊（假稱）ヲ編成シ築城種
化促進ヲ圖ルト共ニ人的戰力ヲ増強セントス

三 防衛召集員ハ別紙編成ニ基キ警備小隊トナリ三月十日
以降指揮小隊戰破隊及中隊致列ノ各作業ニ協カスヘシ
協力ノ細部ニ関シテハ別ニ指示ス

四 教育ハ取敢ヘズ三月十日迄一般基礎教育ヲ實施スル
モノトシ爾後ノ教育ニ関シテハ別ニ指示ス

隊長 平山 大尉

下達法 口達

報告先 支隊本部

平作命第二十三號(宇作命第六十三號)

平山隊命令

三月二十五日。九五。

一、數日來ノ敵情ニ関シテハ既ニ諸隊ヲ熟知セル通り

軍ハ本月三月二十五日ハ〇〇甲銃戰備ヲ下令セラル

支隊ハ愈々必勝ヲ期シ全員戰斗配備ニ就キ敵ノ上陸ニ備ルノ

企圖ヲ有ス

二、本隊ハ速カニ戰斗配備ヲ完了セントス

三、上山營長ハ直ニ支隊本部ニテリ命令及領任スベシ

四、指揮隊ハ直ニ有線通信網ノ改編並ニ射撃基礎諸元整

理ニ任ズベシ

五、戰役隊ハ本薄暮ヲ利シ右分隊ノ夜身結合、掩蔽所引込ニ及

左分隊ノ放列布置並ニ射撃準備ニ任ズベシ

六、中隊級列ハ主食、洞窟收容、炊事場ノ移轉並ニ彈藥ノ整備

ニ任シ薄暮以後伊豆味ヨリ糧秣及領運搬、満名ヨリ

彈藥燃料運搬ニ任ズルト共ニ 戦死隊ノ作業、夕、牽引車ニ
ヲ協力セシムベシ

七、新行橋、海見兵、速カニ編成ヲ解テ、所屬ニ復歸スベシ
八、新行橋、軍車以下、木代班、速カニ歸隊、所屬ニ復歸スベシ

九、屋代ス砲隊ハ成ル可ク速ニ射撃準備ヲ完了スルト共ニ、対空
対海監視ヲ嚴ニスベシ

十、防衛隊ハ當分、向依然現作業初署ノ通、各小隊ニ配属ス
十一、自動車、輜、夜間運行ハ總ベテ無燈火トス
十二、予ハ當初附属隊ニ在リ、状況ノ進展ニ伴ヒ、觀測所ニ轉
位ス

隊長 平山 大尉

下達法 將校ヲ集メ、口達、屋代ス砲隊ニ、電話
報告先 支隊本部

一平作命第二十四號

平山 隊命令

三月三十日 一〇三〇
船 空 台

一、敵情ニ関シテハ、其後新報ニ接セズ

二、中隊ハ國頭支隊本部トノ連絡施設ヲ強化セントス

三、指揮小隊ハ別紙有線通信細要圖ニ基キ中隊一

國頭支隊戰鬪指揮所直通一回線ヲ構成スルト共ニ

要矣ニ補線據矣ヲ設備スベシ

四、余ハ現在地ニ在リ

隊長 平山 大尉

下達法 指揮小隊長ニ口達

報告先 支隊本部

平作命第二十五號（宇作命第八號）

平山隊命令

四月五日

- 一 嘉手納方面ニ上陸セル敵ハ既ニ北中飛行場ヲ確保シ使用ヲ開始セルモノノ如ク主力ヲ以テ南方（喜友名—新城—大城—線ニ進出一部ヲ以テ仲泊—石川—線ニ進出シ陣地構築中ナリ）
- 支隊ハ敵ノ近接ニ鑑ミ本夜以降三ツ堤伊豆味三又路勝鬨峠ハ重嶽橋満名三又路大嘉陽南方ニ歩哨ヲ配置シテ陣内警戒網ヲ構成シ警戒及防諜ヲ強化セラル
- 二中隊陣内ノ警戒及防諜ヲ強化セントス
- 三 監視哨ハ半輪場ヲ定位トシ部隊衛兵動哨ト密ニ連繫シテ警戒任務ヲ兼不行アベシ
- 四 部隊日直將校ハ巡察將校ヲ兼テ夜間適時露營地區内ヲ巡察シ陣内ニ於テル警戒戒厳ニ軍紀ノ緊肅ニ努ムベシ

下連法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム
 報告先 支隊本部
 隊長 平山 大尉

平作命第二十六號

平山隊命令

四月五日 一九〇〇

一敵情ニ関シテハ先刻傳達セル通り

二中隊ハ各小隊人の戦力ヲ組織化セントス

三警備小隊(假稱)ハ明六日〇二〇以降其ノ編成ヲ解キ

第一分隊ハ中隊段列長ノ第二分隊ハ戰砲隊長ノ第三分隊

ハ指揮小隊長ノ指揮ニ入ルベシ

四各小隊長ハ前記人員ヲ併ニ指揮シ現任務ヲ續行スベシ

隊長 平山 大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

報告先 支隊本部

平作命第二十七號

平山隊命令

四月六日一三〇〇

一本早朝來敵低速偵察機一獨「シエトル」ニ酷似一機ハ本
部半島特ニ満名渡久地上空ニ在リテ線密ナル低空偵察
ヲ實施ス

二中隊ハ一部ヲ以テ之ヲ撃墜セントス

三高田准尉ハ機関銃一分隊ヲ指揮シ本明兩日満名偵察
西北側台地(伊豆味街道寄り)ニ陣地ヲ占領シ該飛行
機ノ撃墜ニ任ズベシ

四薄暮以降別命ナク中隊ニ復歸シ明七日〇五〇〇ヨリ前
任務ヲ再興スベシ

五余ハ船窪台ニ在リ

隊長 平山大尉

下達
報告先
支隊本部

平作命第二十八號

平山隊命令

四月八日一六三〇

陸

軍

一 戰車十一輛自動貨車十五輛ヲ伴ヒ名護——伊豆味
 道ヲ北進中ナリシ敵ハ本朝來名護北方一料ヲシラガネ
 橋ニ停止架橋作業中ニシテ別ニ屋部ニ上陸セル敵ハ
 一一三〇主カヲ以テ國民學校ニ集結一部ヲ以テ安和
 ——渡久地道ヲ崎本部方向ニ前進中ナリ
 二 中隊ハ陣外交通網要點ヲ破壞阻絶スルト共ニ陣前
 警戒細ヲ強化セントス
 三 指揮小隊ハ八重嶽——伊豆味道ニ阻絶一ヲ設クルト
 共ニ炭焼場西南方ニ〇〇米附近ニ分哨一ヲ配置シ主ト
 シテ東方並ニ東北方ニ對シ警戒スベシ
 四 戰砲隊ハ船窪台——滿名道ニ阻絶一ヲ設クルト共ニ右
 分隊東北方五〇米附近ニ分哨一ヲ配置シ主トシテ北方

ニ對シ警告戒スベシ

五中隊後列ハ工兵道ニ阻絶一ヲ設ケルト共ニ兵寮南方
五〇〇米高地附近ニ分哨一ヲ配置シ主トシテ東北方
及北方ニ對シ警告戒スベシ

六各小隊ハ對戰車肉攻手ニ組ヲ編成準備教育スベシ
用法ニ関シテハ別命ス

七各小隊ノ交通網遮断作業開始時機ハ一七〇〇以降トシ
明拂曉迄ニ完成スベシ

八爆破資材竝ニ肉攻資材ハ金井軍曹之ヲ準備配當
スベシ

隊長 平山大尉

下達法 將校ヲ集メ口達
報告先 支隊本部